

日本教育方法学会 第28回大会プログラム

《大会日程》

第一日 10月3日・土	9：30	自由研究 1	自由研究 2	自由研究 3	自由研究 4	自由研究 5	自由研究 6
	11：00						
	11：20	授 業 参 観（附属小学校）					
	12：00	休 憩					
	13：00	シ ン ポ ジ ウ ム					
	16：00						
	16：10	課 題 研 究 I			課 題 研 究 II		
	18：10						
	18：30	会 員 懇 親 会					

第 二 日 10 月 4 日 ・ 日	9 : 00	自由研究 7	自由研究 8	自由研究 9	自由研究 10	自由研究 11	自由研究 12
	12 : 00						
	12 : 10	総 会					
	13 : 00	休 憩					
	14 : 00	課 題 研 究 III			課 題 研 究 IV		
	16 : 30						

1992年10月3日(土)・4日(日)

奈 良 教 育 大 学

大会参加要領

1. 会場案内：奈良教育大学は、JR奈良駅、または近鉄奈良駅より、奈良交通市内循環バス①系統か②系統に乗車、「高畑町」下車すぐです。この間の所用時間は5～10分です。
詳しくは、次頁の案内図をご覧ください。
2. 受付：大会第一日（10月3日）は9：00から、第二日（10月4日）は8：30から、講義1号棟と2号棟の間のピロティーで行います。
 - ・大会参加費は、一般会員3,000円、学生会員2,000円です（発表要旨集録代を含む）。
 - ・当日会員（臨時会員）もこれに準じて受け付けております。
 - ・今年度の学会費を既に納入された方は、受付時に『教育方法21』をお受け取り下さい。なお、今年度までの学会費（一般会員5,500円、学生会員4,000円）を未納の方は、あわせてお納め下さい。
 - ・会員懇親会の参加受付も行いますので、是非ともご参加下さい（詳しくは、10頁の「インフォメーション」をご覧ください）。
 - ・なお、受付にて、「ネームプレート」を用意しておりますので、お名前をお書きの上、お付け下さい。
3. 昼食：大会期間中の昼食は、大学の生協食堂をご利用下さい。
第2日（日）は、特別に大学の生協食堂を営業していただきます。予め食券を販売いたしますので、当日の午前10時までに、受付にてお求め下さい。
なお、会場付近には飲食店はほとんどありません。
4. 研究発表：発表会場は、4頁の「講義棟の案内図」等をご覧ください。
なお、第1日11：20～12：00は、奈良教育大学附属小学校にて、授業参観を行いますので、指示に従い移動して下さい。
自由研究発表の発表時間は以下の通りです。

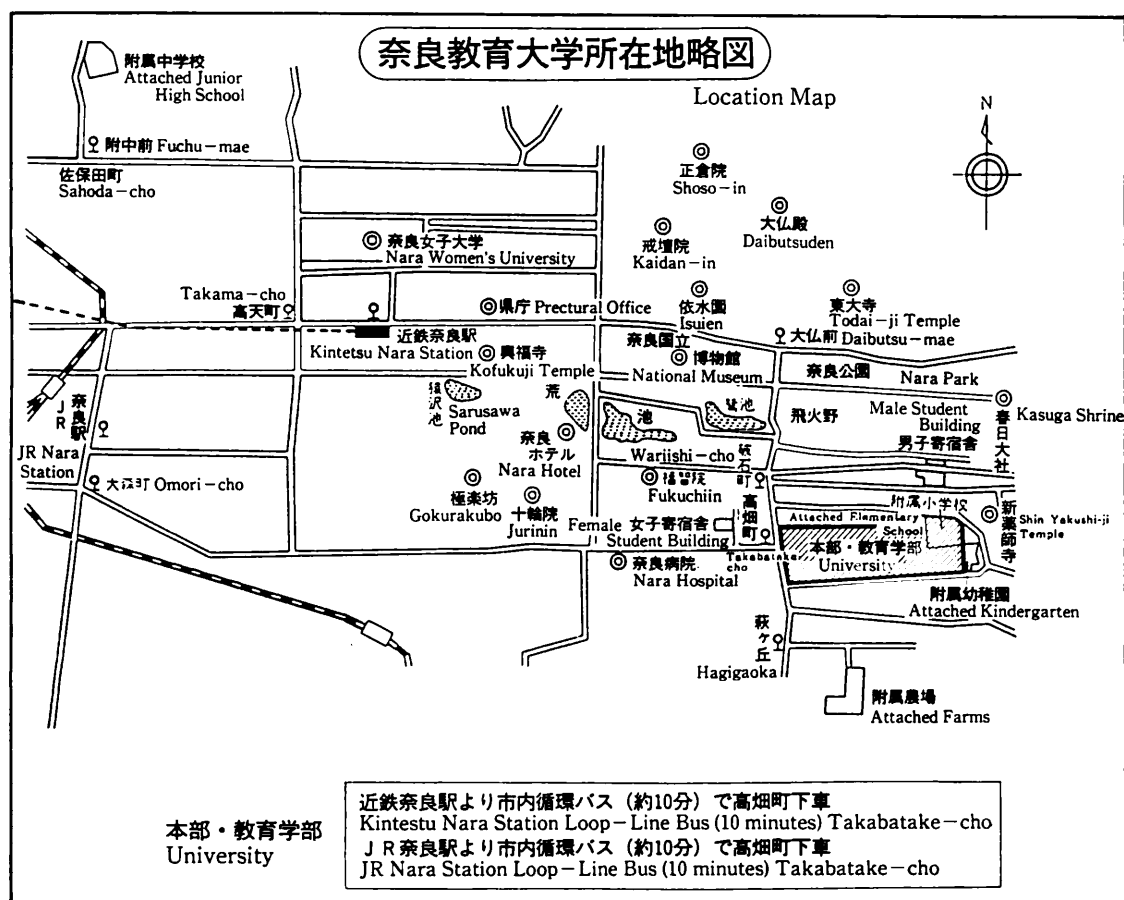
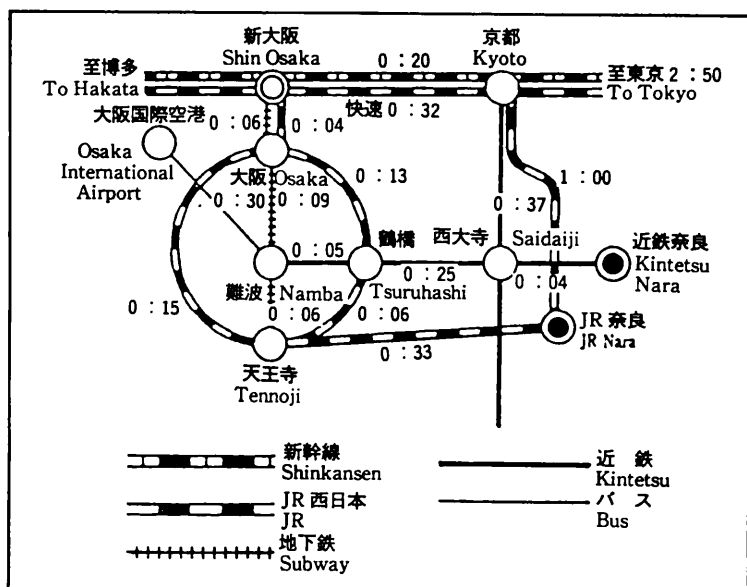
個人研究	発表	20分	質疑	10分
共同研究	発表	30分	質疑	10分

（但し、発表者1名の場合は、個人研究に準じます。）

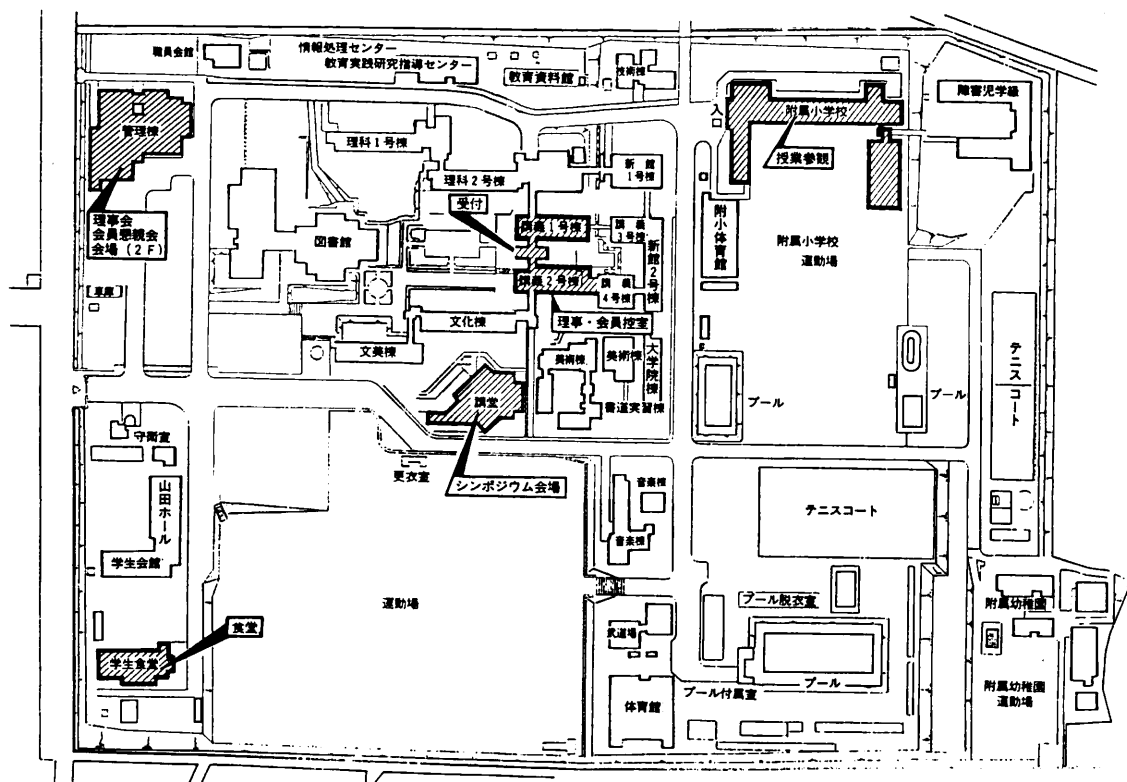
なお、本プログラムの司会者と課題研究提案者は50音順です。自由研究における共同研究発表の○印は、口頭発表者です。
5. 会場校連絡先：〒630 奈良市高畑町 奈良教育大学 小野擴男研究室

なお、大会に関するお問い合わせは、学会事務局にお願いします。

〈奈良教育大学案内図〉

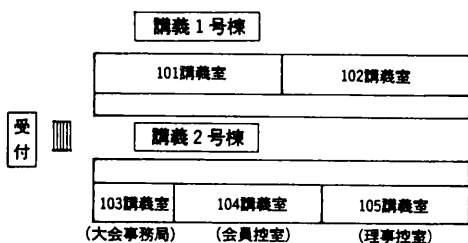


《建物配置図》

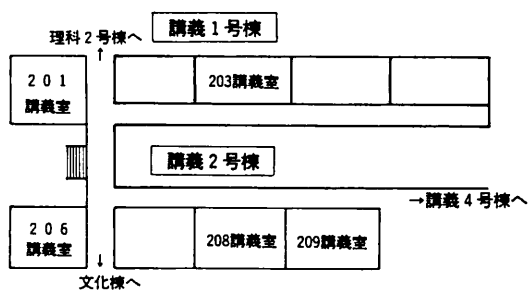


《講義棟の案内図》

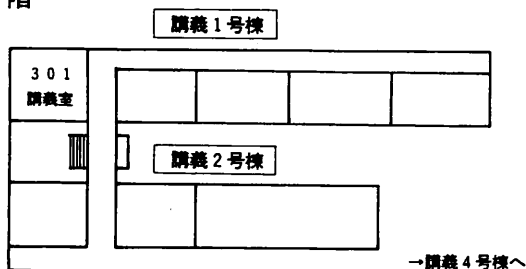
1 階



2 階



3 階



※理事・会員控室は講義2号棟1階に
ございます。お茶などを用意して
おります。

※大会事務局は講義2号棟103講義
室です。

自由研究 1

(203講義室)

司会者 井 谷 善 則 (大阪教育大学)
中 村 亨 (九州大学)

- 9:30 モンテッソーリの子供観 17
— その隠された視点 — 井 出 麻里子 (上智大学大学院)
- 10:00 子どもを捉える視座の研究 (その2) 18
— 「現代」への接近・ルソーからニーチェ, ポルトマンへ —
角 野 幸 代 (神戸女子大学大学院)
- 10:30 教科学習における思考の異種性と言語ゲーム 19
— 教科教授の活動—コミュニケーション論的アプローチ—
山 住 勝 広 (大阪教育大学)

自由研究 2

(201講義室)

司会者 橋 川 喜美代 (鳴門教育大学)
諸 岡 康 哉 (金 沢 大 学)

- 9:30 教育実践における「身体性」と「語り」と「居場所」 20
— ペスタロッチの教育的思索に即して —
森 悦 子 (神戸女子大学大学院)
- 10:00 保育における「援助」を理論づけうる「発達」観とは何か 21
— H. ワロンに学ぶこと —
西 岡 けいこ (新潟中央短期大学)
- 10:30 保育指導におけるレトリック (共感・説得) の論理 22
光 本 弥 生 (広島県立保育専門学校)

自由研究 3

(206講義室)

司会者 出 原 泰 明 (日本福祉大学)
長谷川 栄 (筑 波 大 学)

- 9:30 日本における文化教育学の受容と教科論 (2) 23
伊 藤 博 之 (兵庫教育大学)
- 10:00 学校体育の指導過程において抱かれる教師の「創作ダンス」観念 24
— 【女子体育】誌における「中学校のダンス」から —
佐々木 昌 代 (香川短期大学)
- 10:30 体育における指導過程に関する研究 25
○城 後 豊 (上越教育大学)
水 谷 豊 (桐朋学園大学短期大学部)

自由研究 4

(208講義室)

司会者 霜 田 一 敏 (愛知教育大学)
山 下 政 俊 (島 根 大 学)

- 9 : 30 “現実性をもつ課題の総合学習”についての考察 26
—「鉄道の数学」を題材にして—
○森 裕 一 (倉敷市立短期大学)
○柳 本 哲 (大阪教育大学附属
天王寺中学校)
- 10 : 10 M. リップマンの『子どものための哲学』 27
—カリキュラムの特徴を中心にして—
○安 藤 輝 次 (福 井 大 学)
○渡 邊 一 保 (福 井 大 学)

自由研究 5

(209講義室)

司会者 小田切 正 (北海道教育大学)
長 岡 文 雄 (佛 教 大 学)

- 9 : 30 幼児教育における知的能力の発達と遊びの役割 28
— 幼・小関連の構造に関する教授学的検討 —
松 田 己統美 (広島大学大学院)
- 10 : 00 無着成恭編『山びこ学校』を生み出した教育実践の理論 29
神 郁 雄 (関東学院中学校高等学校)
- 10 : 30 倉橋惣三の幼児教育方法論 (1) —「間接教育」論の生成過程— 30
桑 原 昭 徳 (山 口 大 学)

自由研究 6

(301講義室)

司会者 稲 葉 宏 雄 (京 都 大 学)
井 上 正 明 (福岡教育大学)

- 9 : 30 中学校の選択履修が生徒に与える影響 31
— 卒業生、在校生へのインタビューを基にして —
○山 口 好 和 (大阪大学大学院)
木 原 俊 行 (大 阪 大 学)
- 10 : 00 高校生の学校と進路についての意識 32
○西 尾 範 博 (流通科学大学)
○梶 川 裕 司 (京都外国語大学)
○佐 藤 三 郎 (流通科学大学)

10月3日(土) 午後

シンポジウム いま、授業成立の原則を問う

(講 堂)

(1:00～4:00)

司会者

小 野 擴 男 (奈良教育大学)

鈴 木 秀 一 (札幌学院大学)

提案者

吉 本 均 (神戸女子大学)

趣旨提案

橋 本 博 孝 (奈良教育大学附属小学校)

附属小全体提案・国語科授業 …… 33・34

櫻 本 豊 己 (奈良教育大学附属小学校)

社会科授業提案 …… 35

今 澤 均 (奈良教育大学附属小学校)

生活科授業提案 …… 36

山 室 光 生 (奈良教育大学附属小学校)

図画工作科授業提案 …… 37

藤 田 喜 久 (前・奈良教育大学附属小学校副校長、
奈良教育大学非常勤講師)

附属小からの分析

佐 藤 学 (東 京 大 学)

反省的授業＝その実践と表現の様式 …… 38

久 田 敏 彦 (大阪教育大学)

授業成立に関するコミュニケーション論的考察 …… 39

— 学習集団研究の立場から —

山 口 満 (筑 波 大 学)

学習と生活の結びつきを考え直すという観点から …… 40

(設定の趣旨) 大会校の特別企画として奈良教育大学附属小学校の協力を得、授業の実際を参観した上で、いま、授業成立の原則に求められるものは何かについての全体討論を行う。

ダブルスクール現象が進行するなかで、生活科が登場し学校5日制も開始される。教育技術の重要性が指摘されるとともに「学校知」が問い直され「授業観の変革」がいわれる。授業研究において教科の本質を一貫して追求してきた奈良教育大学附属小学校の四つの授業提案(参観授業:「国語」「社会」「生活」「図画工作」)を踏まえながら、授業成立の原則を改めて検討する。

授業参観: 奈良教育大学附属小学校 (11:20～12:00)

自由研究1～6終了後、奈良教育大学附属小学校へ移動して下さい。

移動時間は、徒歩およそ5分です。

10月3日(土) 午後

**課題研究Ⅰ 低学年カリキュラムの内容・方法および
評価に関する教授学的研究 (102講義室)**

(4:10～6:10)

司会者

柴田 義松 (成蹊大学)

水越 敏行 (大阪大学)

提案者

臼井 嘉一 (福島大学)	低学年カリキュラム研究の課題と「原教科」論という観点…………… 41
田中 博之 (大阪教育大学)	生活科での自作教材とメディア活用の教育的機能…………… 42
長沢 憲保 (兵庫教育大学)	生活科における方法的能力の形成と授業指導の論理…………… 43
山田 昇 (奈良女子大学)	奈良女子大学附属小学校における 「しごと、けいこ、なかよし」の史的検討…………… 44

(設定の趣旨) 今年度4月より「生活科」が全面実施され、また、学会員によって構成された「総合科研」が最終年度であることから、3年間にわたる研究の成果を総括し、今後の課題を明らかにする。

10月3日(土) 午後

課題研究Ⅱ 教育において「指導」とは何か

(101講義室)

(4:10～6:10)

司会者

市川 博(横浜国立大学)

大槻 和夫(広島大学)

提案者

安彦 忠彦(名古屋大学)	教育における権威の問題から考える ……………	45
藤田 昌士(立教大学)	子どもの権利保障・権利実現としての指導 ……	46
湯浅 恭正(香川大学)	障害児の教育実践と指導 ……………	47

(設定の趣旨) 今日「指導」概念をめぐるのは、「指導」と「管理」、「指導」と「援助」、
の関係などの観点から、さまざまな議論がされている。このような状況にお
いて、教育における「指導」とは何か、その成立根拠や今日的課題について
検討する。

インフォメーション

会 員 懇 親 会

日 時：第1日（10月3日） 18：30から
会 場：奈良教育大学 大会議室（管理棟2階）
会 費：3,000円

会員相互の親睦をはかるため懇親会を開きます。奈良ならではの味覚も準備しております。
多数の会員の皆様のご参加をお願いします。

会 員 総 会

日 時：第2日（10月4日） 12：10～13：00
会 場：奈良教育大学 大会議室（管理棟2階）
主な議題：会務報告
1991年度決算
1993年度予算案
次期大会校

昼食・休憩前ですが、ぜひとも多数ご参集下さい。

書籍販売について

学会事務局では、受付にて学会機関誌『教育方法』ならびに研究紀要『教育方法学研究』の最新刊およびバックナンバーの販売を会員割引価格にて販売いたします。この機会に是非お求め下さい。

また、本大会の『発表要旨集録』を別途希望される方には、一部800円にて頒布しております。

なお、『教育方法』最新刊第21巻は、本年度会費を納入された方には、随時お手元に郵送させていただきます。

自由研究 7

(203講義室)

司会者 豊田 ひさき (大阪市立大学)
平野 智美 (上智大学)

- 9:00 教育をとらえる「比喩モデル」研究(その2) 49
— フレーベルの球体理論を中心として —
船越 美穂 (神戸女子大学大学院)
- 9:30 教授学における「相互主体性」概念の検討 50
白石 陽一 (熊本大学)
- 10:00 行動調整におけるコミュニケーションと認知について 51
木下 百合子 (大阪教育大学)
- 10:30 学習過程における認識発展と〈追究—コミュニケーション編成〉の展開 52
○流 真名美 (福井大学大学院)
○寺岡 英男 (福井大学)
松木 建一 (福井大学)
森 透 (福井大学)
柳沢 昌一 (福井大学)
- 11:10 改革教育学の教授構想の心理学的基礎と前提の検討 53
— 改革教育学の教授構想の研究(1) —
○歡喜 隆司 (佛教大学)
木下 百合子 (大阪教育大学)
山住 勝広 (大阪教育大学)
栗宗 保輝 (大阪府立港南高校)
中野 真志 (大阪市立大学大学院)
○手取 義宏 (大阪市立大学大学院)
○高瀬 祐子 (箕面自由学園高校)

自由研究 8

(201講義室)

司会者 岩垣 摂 (千葉大学)
佐々木 俊介 (筑波大学)

- 9:00 授業実践の比較研究に関する一視点 54
— 授業記録処理を介した抽出児の選定・検討を中心として —
田上 哲 (九州大学)
- 9:30 授業における子どもの個性的な追究活動と学習内容 55
— 多様な追究を許容する授業の事例研究による —
田代 裕一 (西南学院大学)
- 10:00 授業において「状況」をいかに設定するか 56
大村 稷 (堺市立大仙小学校)
- 10:30 児童発言の中間項への転換(発言の再構成)にもとづく子どもの思考過程の相互関連の顕在化 57
○日比 裕 (名古屋大学)
○的場 正美 (名古屋大学)
○石川 英志 (岐阜大学)
○飯島 薫 (名古屋大学大学院)
○平山 勉 (名古屋大学大学院)

自由研究 9

(206講義室)

司会者 杉山明男(吉備国際大学)
竹内常一(國學院大学)

- 9:00 授業における追求の方向性と授業形態との関連(その3) 58
— 5年国語「粉と生活」を例に —
○伊崎一夫(三田市立狭間小学校)
○北川金秀(宝塚市立西谷小学校)
- 9:40 戦後授業観の問題史研究 59
— 斎藤喜博における「授業指導」観 —
草信幸世(神戸女子大学瀬戸短大)
- 10:10 斎藤喜博の横口授業「山の子ども」の分析(2) 60
— 「出口」論争再考 —
井上光洋(東京学芸大学)
- 10:40 分析批評による国語科授業の問題点 61
宮原修(お茶の水女子大学)
- 11:10 授業中の予想外場面における教師の判断 62
— 国語の授業を事例として —
○長谷川 栄(筑波大学)
佐々木 俊介(筑波大学)
○新井 孝喜(筑波大学大学院)
○樋口 直宏(筑波大学大学院)
○助川 晃洋(筑波大学大学院)

自由研究 10

(208講義室)

司会者 佐藤三郎(流通科学大学)
宮本光雄(熊本大学)

- 9:00 イギリスの初等学校における教授=学習プロセスに関する研究 63
福伊智(広島大学)
- 9:30 グローバルな地理の教授活動 64
— 五つの基本テーマを中心に —
中野真志(大阪市立大学大学院)
- 10:00 イギリス「実用主義」歴史教科書構成にみられる市民的資質育成の論理 65
— C.F. ストロング著 “Today Through Yesterday” の場合 —
戸田善治(国立教育研究所)
- 10:30 学校における環境教育の指導方法の在り方 66
千葉浩三(宮城県南郷高校)
- 11:00 ラグ社会科における「統合」概念の意味 67
江間史明(近畿大学)
- 11:30 ブルーナーの『教育の過程』の新しい読み直し方 68
— 解釈のシエマを、一方向的系統主義の枠組から「動的相対主義」的枠組に
変革する必要 —
平光昭久(嵯峨女学園大学)

自由研究 11

(209講義室)

司会者 白井 慎(法政大学)
三原 征次(大分大学)

- 9:00 子どもの文化活動における教師の指導性に関する研究 69
藤井 啓之(広島大学研究生)
- 9:30 中学校道徳における「価値の明確化」理論の意義と課題 70
志村 隆弘(福島大学大学院)
- 10:00 指導と援助の関係をめぐる問題史的研究(1) 71
鈴木 庸裕(大阪音楽大学)
- 10:30 「ストレスと教師と教育と、知育について」の、ある考察 72
妹尾 昌(倉敷高等学校)
- 11:00 退学処分と生徒の権利 73
——特に自主退学とその問題性について——
角本 尚紀(神戸海星女子学院大学)

自由研究 12

(301講義室)

司会者 中野 和光(福岡教育大学)
八田 昭平(鳴門教育大学)

- 9:00 生活科におけるメディアの活用状況 74
松本 康(埼玉純真女子短期大学)
- 9:30 授業理論の検証と実践者の感性・方法・技術 75
加藤 好男(聖徳大学短期大学部)
- 10:00 教育工学的アプローチの方法論的変容への提言 76
——ハイパーメディアによる2つの研究事例を通して——
長石 敦(兵庫教育大学)
- 10:30 子ども——コンピュータのインタフェース設計に関する一考察 77
——仮想環境における学習設計の可能性——
○小柳 和喜雄(常盤大学)
○藤田 博隆(茨城大学大学院)
- 11:10 教科選択支援システムの開発研究(3) 78
——MAUD(多属性効用分解再合成プログラム)の手法を取り入れて——
○木原 俊行(大阪大学)
○森田 英嗣(大阪教育大学)
山口 好和(大阪大学大学院)

10月4日（日） 午後

課題研究Ⅲ 大学における「教育方法学」教育の検討
(101講義室)

(2:00～4:30)

司会者

阿部 好策 (新潟大学)

扇谷 尚 (大阪薫英女子短期大学)

提案者

権藤 誠剛 (島根大学)

教員養成における力量形成と「教育実地研究」…… 79

佐藤 年明 (三重大大学)

「参加」と「批判」の体験を通じて学生自身の
学習指導観の形成を促す …………… 80

建部 昌弘 (大阪国際女子大学)

手作り教材の制作—学生に、自己教育力を仕
掛ける— …………… 81

堀江 伸 (滋賀大学)

新教免法科目「教育の方法・技術」の試みと今
後の方向性—大学教師による授業実践と総合
的反省— …………… 82

(設定の趣旨) 教免法が改訂され、カリキュラムにおいて「教育方法学」領域の教育がますます重視されるようになっている。教育方法学研究者は、大学においてどのような「教育方法学」に関連する講義・ゼミを行っているか。それぞれの実践や構想を交流し、検討する。

課題研究Ⅳ 教育方法学における学際的研究の進め方
(102講義室)

(2 : 00 ~ 4 : 30)

司会者

吉 本 均 (神戸女子大学)
渡 辺 光 雄 (筑 波 大 学)

提案者

庄 司 他人男 (福 島 大 学)	授業研究における学際的方法の試みと課題 …… 83
深 沢 広 明 (広 島 大 学)	演劇と教育 ― 根源現象への回帰の視点から ― … 84
藤 原 顕 (大阪外国語大学)	教材論・発問論への「言語学的」アプローチ …… 85
吉 崎 静 夫 (鳴門教育大学)	認知科学と行動科学からのアプローチとしての 教育方法学 ― 授業研究の方法論の検討を通し て ― …………… 86

(設定の趣旨) 教育方法学研究のあり方として学際的研究を進めていくことは、現象学や認知科学からの接近、臨床医学や教科内容の専門家との協力、教育方法学と教育心理学の統合など、今日あらためて問い直されている重要な課題である。その際、教育方法学におけるこれまでの研究の枠組みや方法論と新しいパラダイムや研究動向との関連、学際的研究を進めていく上での内容や方法、組織や体制などについて、現状をふまえつつ今後の教育方法学研究を展望する。

日本教育方法学会刊行書籍

教育方法 1.	教科内容・指導方法の現代化	1 9 6 6	(品切れ)
教育方法 2.	授業改造の基本問題	1 9 6 8	(品切れ)
教育方法 3.	授業の組織化と教師の指導性	1 9 6 9	(品切れ)
教育方法 4.	学力差と教授・学習過程	1 9 7 0	(品切れ)
教育方法 5.	教育方法学' 70年代の課題	1 9 7 2	(品切れ)
教育方法 6.	授業研究の課題と方法	1 9 7 4	(品切れ)
教育方法 7.	現代学校教育論の再検討	1 9 7 5	(品切れ)
教育方法 8.	教育課程再編の原則	1 9 7 6	(品切れ)
教育方法 9.	現代訓育理論の探究	1 9 7 7	(2,163円)
教育方法10.	学力の構造と教育評価のあり方	1 9 7 9	(品切れ)
教育方法11.	現代授業理論の争点と教授学	1 9 8 0	(2,472円)
教育方法12.	学級教授論と総合学習の探究	1 9 8 2	(2,678円)
教育方法13.	いま授業で何が問われているか	1 9 8 4	(2,472円)
教育方法14.	子どもの人間的自立と授業実践	1 9 8 5	(2,884円)
教育方法15.	実践にとって教授学とは何か	1 9 8 6	(2,266円)
教育方法16.	個性の開発と教師の力量	1 9 8 7	(2,472円)
教育方法17.	教育方法を問い直す	1 9 8 8	(2,987円)
教育方法18.	新教育課程と人間的感性の育成	1 9 8 9	(2,000円)
教育方法19.	知育・徳育の構想と生活科の指導	1 9 9 0	(1,760円)
教育方法20.	学校文化の創造と教育技術の課題	1 9 9 1	(1,760円)

最新刊・教育方法21『自己学習能力の育成と授業の創造』

<内 容>

- I. 生涯学習社会に求められる子どもの能力
- II. 授業の創造と授業研究の課題
- III. 指導要録の改訂と教育評価の課題
- IV. 子どもの権利条約と教育実践の課題

『教育方法』は、大会当日、会場にて会員割引価格で販売いたします。
この機会に多数の方々のご購入をお願いいたします。

18巻からは「会員配布制」となりましたので、学会費納入された方には、明治図書より直接お手元まで郵送いたします。

〒170

東京都豊島区南大塚2-39-5

明治図書

Tel.(編)03-3946-3151・3152

Tel.(営)0482-56-1175